

江 別 市 一 般 廃 棄 物 処 理 基 本 計 画 の 施 策 取 組 み 状 況

資料 3

(平成25年7月現在)

(施策体系)		施策概要	担当課		24年度の実績	25年度の実施内容	備考
			所管課	係			
基本方針1 3Rの推進							
1-1)	発生・排出抑制の啓発・支援	ごみの発生・排出抑制の様々な手法・場面での啓発や取り組み支援を継続する	減量推進課	減量推進係	・リサイクルバンク等の広報 ・ごみの発生抑制活動の推進（使用済割箸回収、古布を利用したリフォーム教室等） ・マイバックのほりの掲揚継続	・リサイクルバンク等の広報 ・ごみの発生抑制活動の推進（使用済割箸回収、古布を利用したリフォーム教室等） ・損傷のほりの随時交換	
1-2)	広報機能の充実	ごみ処理に関する情報提供について、引き続きタイムリーで見やすく分かりやすい広報に努める	廃棄物対策課	業務係	・平成24年10月ごみの出し方相談ダイヤル設置 ・広報えべつ・ごみコミえべつ・ホームページを活用した広報活動の実施 ・ごみ処理の費用と手数料についてごみコミえべつ45号に掲載	・引き続き見やすく分かりやすい広報に努める	
			減量推進課	減量推進係	・広報えべつ 21件掲載、ごみコミえべつ 3回発行、自治会回覧、収集日カレンダー 1回発行 ・ホームページの随時更新（よくある質問のアップ）	・広報えべつへの随時掲載、ごみコミえべつ 3回発行、自治会回覧、分別の手引き・収集日カレンダー 各1回発行 ・ホームページの随時更新	分別の手引きは経費節減のため隔年発行
1-3)	環境教育（学習）の推進	・環境教育教材等を充実し意識の醸成を図る ・施設見学により3Rの推進をより広く理解してもらう ・関係団体と連携し出前講座の充実を努める	施設管理課	施設係	・見学者実績 リサイクルセンターのみ見学 334名 環境クリーンセンターのみ見学 859名 両施設の見学 170名 ※環境クリーンセンターの見学者数は、メガソーラー発電所の見学者数を除く	・メガソーラー発電所（H25年2月運転開始）の施設見学が追加され、環境クリーンセンターとの相乗効果による見学者増加が見込まれる	
			減量推進課	減量推進係	・小学生向けパンフレット作成 2,000部作成 ・出前講座開催 1回（20人参加） ・小学生向け夏休みリサイクル教室の開催 1回（60人参加）	・小学生向けパンフレット作成 1,800部 ・出前講座開催 ・小学生向け夏休みリサイクル教室開催	
1-4)	市民団体等との協働	市民団体との連携を深め、協働に向けた取り組みを積極的に進める	減量推進課	減量推進係	・江別消費者協会や江別市女性団体協議会と連携し、ごみの排出抑制事業を実施 江別消費者協会：使用済割箸回収、リフォーム教室、環境エコ講座 江別女性団体協議会：生ごみ堆肥化講習会	・江別消費者協会や江別市女性団体協議会と連携し、ごみの排出抑制事業を実施 江別消費者協会：使用済割箸回収、リフォーム教室、環境エコ講座 江別女性団体協議会：生ごみ堆肥化講習会	
1-5)	生ごみ減量化の推進	堆肥化容器等の購入助成、生ごみの水切り啓発など生ごみ減量の継続的な普及・啓発を行う	減量推進課	リサイクル係	・堆肥化容器等の購入助成（登録販売店：電気式13店舗、堆肥化容器4店舗） 堆肥化容器助成117台、電気式処理機助成9台 ・生ごみ堆肥化講習会の開催3回（112人参加） ・江別市女性団体協議会へのごみ減量化推進啓発業務の委託 ・広報誌及び自治会回覧等での生ごみ減量化に係る啓発の実施	・購入費及び維持費が高額で利用者の大幅な増加が期待できない電気式生ごみ処理機購入助成の廃止 代わりに、より多くの世帯に生ごみ減量について啓発できる手法として、生ごみ水切り器の無料モニター配布 今年度は高齢者世帯を対象：水切り器配布対象3団体、配布数500個（聚楽学園326個、蒼樹大学153個、江別市女性団体協議会21個） ・堆肥化容器の購入助成 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・江別市女性団体協議会へのごみ減量化推進啓発業務の委託 ・広報誌及び自治会回覧等での生ごみ減量化に係る啓発の実施	
1-6)	リサイクルバンクの運営	不用品再利用の実践・啓発、地域循環の拠点として引き続き運営する	減量推進課	リサイクル係	・平成24年度実績 来場者数 5,881人 回収点数 1,360点 再利用点数 1,353点 ・平成24年12月から、電話による在庫照会受付開始 ・ごみコミえべつ及び市ホームページ等での事業内容周知による利用促進に向けた啓発の実施	・平成25年度計画値 来場者数 6,300人 回収点数 1,500点 再利用点数 1,500点 ・ごみコミえべつ及び市ホームページ等での事業内容周知による利用促進に向けた啓発の実施	
1-7)	リユース活動の情報提供	リユース活動が広く市民に定着するよう広報等で情報提供していく	減量推進課	リサイクル係	・広報えべつにフリーマーケット開催情報を掲載 広報掲載回数11回（開催掲載日数19日）	・広報えべつにフリーマーケット開催情報を掲載	
1-8)	事業系食品残渣再利用の調査研究	食品残渣を飼料化・堆肥化によって再利用する食品リサイクルループの可能性について調査研究する	減量推進課	減量推進係	・平成24年7月6日 北海道バイオマスネットワーク会議出席 ・平成24年8月28日 北海道循環資源利用促進協議会出席 ・平成24年11月9日 資源リサイクルセミナー出席	・平成25年7月10日 北海道バイオマスネットワーク会議出席 ・北海道バイオマスネットワーク会議 廃棄物系バイオマス利活用促進WGと共同で、江別市から発生する食品残渣等の廃棄物系バイオマスの利活用について研究を進める。	
1-9)	集団資源回収の推進	資源回収の実施団体名・回収品目等の情報提供を強化していく	減量推進課	リサイクル係	・回収促進のため平成25年2月に登録224団体に対しチラシを郵送したほか、新規登録団体募集のため自治会回覧を実施。 ・その他、広報えべつ及びホームページ等で制度について周知。 実施団体数209団体、回収量7,960 t	・取り組み団体数が増加するよう、また既実施団体については回収品目と回収量が増加するよう、回収業者への働きかけと団体に対して啓発を実施する。 ・その他、広報誌及び自治会回覧等で周知啓発を行う。	
1-10)	資源物収集の品目拡大の検討	排出の利便性や処理コスト等を踏まえた分別品目の拡大を検討する	減量推進課	減量推進係	・平成24年5月 北広島市、中空知衛生施設組合を視察 生ごみの分別、リサイクル事業実施の場合の分別、費用、課題などその可能性について調査研究	・リサイクル事業実施の場合、分別・施設整備及び維持管理費用・課題などその可能性について調査研究	
1-11)	事業者の自主回収ルートの活用	店頭回収の取組状況を把握し、その情報提供により事業者回収の活用を図る	減量推進課	減量推進係	・ホームページにスーパー・店舗回収品目掲載 缶類5か所、ペットボトル6か所、紙パック11か所、白色トレイ10か所、廃食用油10か所	・引き続きホームページに回収状況掲載	
1-12)	植物性廃食用油の拠点回収の情報提供	バイオディーゼル燃料の活用を見守りつつ、引き続き回収拠点について情報提供していく	減量推進課	リサイクル係	・自治会回覧、ごみコミえべつに啓発記事を掲載 回収拠点10か所、回収量10,522ℓ	・ごみコミえべつ及び市ホームページ等での事業内容周知による利用促進に向けた啓発の実施	
1-13)	布類の拠点回収の拡充	市民団体と協力しながら回収拠点の拡充を進める	減量推進課	リサイクル係	・市民活動センター・あい、フリーマーケット会場及び集団資源回収(56団体)で回収 回収量 19,721kg	・市民活動センター・あい、フリーマーケット会場での回収の継続 ・集団資源回収による布類の回収実施団体数と回収量の増加に向け、回収業者への働きかけと団体への啓発を行う ・布類の回収拠点の拡充に向け検討を行う	
1-14)	使用済小型家電の回収	イベント活用による回収状況を見ながらその手法を検討する	減量推進課	リサイクル係	・イベント回収 回収量995kg (6月環境広場441kg、8月消費者フェア117kg、9月ガス展437kg) ・市内家電量販店での店頭回収 回収拠点数2か所、回収量22,729kg	・イベント回収及び市内2か所の家電量販店での店頭回収、及び広報の継続 ・回収拠点の拡充を検討する	
1-15)	グリーン購入の推進	引き続き環境に配慮した物品や再生品の優先的な選択、購入を推進する	廃棄物対策課		・必要性、品質を良く考え環境への負荷ができるだけ少ないものにし、ガイドライン適合物品（グリーン購入）を積極的に購入	・再生品の購入をはじめ、環境に配慮した製品の購入に努める	
			施設管理課				
			減量推進課				

(施策体系)		施策概要	担当課		24年度の実績	25年度の実施内容	備考
			所管課	係			
基本方針・施策							
基本方針2 適正なごみ処理の確保							
2-1)	安全・安心なごみ処理体制の確保	運転の効率化や施設の適正な維持管理に努め継続して安心・安全なごみ処理を行う	施設管理課	施設係	・不具合による施設停止 2日	・不具合による施設停止が発生しないよう予防保全を進め、維持管理運営に努める	
2-2)	民間処分業者の活用	必要に応じた許可品目の拡大など、民間処分業者の活用を図る	減量推進課	減量推進係	・既許可品目(畳・紙くず)の継続	・拡大品目等の検討、及び業者との協議	
2-3)	在宅医療廃棄物の適正処理	医療関係者との協議により収集・処理の範囲を明確化し適正処理を図る	減量推進課	減量推進係	・ホームページ「よくある質問」に在宅医療廃棄物の処分方法を掲載	・分別の手引きに掲載し市民へ周知	
2-4)	地域生活環境の保全	・不法投棄・野焼き防止の啓発・監視の強化 ・ごみステーション管理の地域の取組を支援 ・共同住宅入居者への排出ルール徹底の継続	廃棄物対策課	業務係	・のぼり設置 野焼き7か所21枚、不法投棄21か所95枚 ・不法投棄看板 防止62か所、小学生作成看板10か所 ・カラス除けサークル 貸与数34基(市内全域891基設置) ・平成24年6月廃棄物不法投棄等の情報提供の締結 江別ハイタク協議会、江別ハイヤー、日本郵便江別・野幌両支店 ・ルール違反のために収集せずに残すごみに貼る「残置理由シール」の見直し(枝木、廃木材)	・のぼり・看板の設置及びカラス除けサークル貸与の継続 ・廃棄物不法投棄等の情報提供協定締結の拡大 ・ごみステーションパトロールの強化(業務委託の拡大)	
2-5)	事業系ごみの適正処理	・事業所への指導・啓発 ・多量排出事業所の指導強化	減量推進課	減量推進係	・野幌料飲店組合及び野幌遊楽街振興会の加盟店を対象に事業系ごみ適正処理セミナーを開催 開催月日：平成25年2月13日(19人参加)	・事業系ごみの分別・処理方法などについての指導・啓発を行うため、事業系ごみ適正処理セミナーを開催 ・事業系ごみ分け方・出し方パンフレット作成	

基本方針3 市民の視点に立ったごみ処理システムの構築							
3-1)	大型ごみ収集区分の新設	大きなものや発火の危険性のあるもの、硬いかたまり状のものを申込により戸別に収集する大型ごみ収集区分を設置	減量推進課	減量推進係	・広報えべつに掲載 ・ホームページ「よくある質問」の掲載	・分別の手引きに掲載し市民へ周知	
3-2)	指定ごみ袋の統合と新設	ごみ袋の使い分けの手間、保管・販売の手間、作成・配布の費用負担軽減のため指定ごみ袋を統合し、合わせて少量袋を新設	廃棄物対策課	庶務係	・平成22年10月から「燃やせるごみ袋」「燃やせないごみ袋」の統合及び5リットル袋を新設	・指定ごみ袋の統合及び5種類の継続(5リットル・10リットル・20リットル・30リットル・40リットル)	
3-3)	ごみ処理手数料の減免拡大	・常時紙おむつが必要な方への経済的な負担軽減として要介護高齢者や2歳未満の乳幼児等に減免対象を拡大 ・減免の方法は申請により「江別市指定ごみ袋引換券」を郵送し、引換券取扱い店舗でごみ袋と交換	廃棄物対策課	庶務係	・拡大の実施状況把握と検証・確認を継続 ・広報えべつ8月号に制度周知記事記載 交付件数 4,058件、交付枚数 241,525枚	・実施状況の把握と検証、確認を継続 ・1店舗の減免用「江別市指定ごみ袋引換券」取扱い店舗の拡大	
3-4)	ごみ出し困難者に対する収集方法の検討	高齢者や障がい者の単身世帯化等によりごみ出しが困難な世帯の増加に伴い収集方法の在り方を検討する	廃棄物対策課	業務係	・未実施	・他市の状況確認を確認	
3-5)	燃やせるごみの早期収集	収集業務の地区割り・ルートなど収集体制の在り方を検討し早期収集に努める	廃棄物対策課	業務係	・収集区分別現地終了時間などのデータを把握	・収集区分別現地終了時間などのデータを把握	

基本方針4 経済的・効率的なごみ処理の推進							
4-1)	施設の維持管理の推進	施設の長期修繕計画を策定し日々の点検、整備を継続するとともに、管理型最終処分場の安全性を確保していく	施設管理課	施設係	・予防保全の実施状況を確認するため、日々の点検及び定期整備内容について、モニタリングの実施した	・前年度同様	
4-2)	収集運搬業務の一括委託	行政収集に係る収集運搬業務の一括委託で効率化を図る	廃棄物対策課	業務係	・収集運搬業務の一括委託により当該業務の効率性が向上した	・25年度においても継続して一括委託を実施し、効率的な事業を実施	
4-3)	資源物・危険ごみの同日収集	誤排出などの支障を解消し車両の効率的な運用を可能とするため資源物と危険ごみを同日収集とした	廃棄物対策課	業務係	・資源物・危険ごみを同日収集としたことで、危険ごみが適正に排出されることになった	・25年度においても継続して同日収集を実施	
4-4)	燃やせないごみの収集回数の見直し	排出量に応じた燃やせないごみの収集回数を見直しを行った(繁忙期を除く)	廃棄物対策課	業務係	・収集量、収集回数等について確認し検証を図ることができた	・25年度においても継続して収集量等の検証	
4-5)	ごみ処理業務の委託拡大	業務水準や安全性を維持し、ごみ処理費用の抑制のため、定型的な業務の委託拡大を図る	廃棄物対策課		・平成23年度実施した指定ごみ袋等管理業務一括委託の継続(袋等の製作・保管・配送及び手数料等の収納業務) ・ごみの出し方相談業務の委託拡大	・既委託業務の継続と定型的な不適正排出等のステーションパトロール業務の委託	
4-6)	環境クリーンセンター処理手数料の検討	排出抑制、費用負担の公平化、指定ごみ袋や大型ごみとのバランスに配慮した手数料の在り方を検討する	廃棄物対策課	庶務係	・未実施	・未実施	江別市の概ね3年単位を基本とした使用料・手数料の見直し時期に合わせて検討
4-7)	リサイクルバンク利用者負担の検討	利用による不公平をなくし、持続的な運営確保のため、費用負担の在り方やその手法等について検討する	減量推進課	リサイクル係	・利用者負担を加味して検討	・施設については平成26年6月末までの5か年リースを継続しているが、施設の更新及び事業のあり方、並びに閉館時間及び受益者負担について、今年度調査及び検討を行う	
4-8)	広報誌等への有料広告掲載の募集	清掃部門における定期広報誌等への有料広告掲載の募集を行う	減量推進課	リサイクル係	・ごみ収集日カレンダーに掲載する広告の募集、受付、広告内容の審査、掲載及び広告料収納 掲載4枠、広告料収入252千円	・ごみ収集日カレンダーと分別の手引きに広告掲載を行う広告取扱業者の決定、広告内容の審査、掲載及び広告料収納 掲載38枠、広告料収入500千円	
4-9)	新しいコスト計算手法の導入研究	事業費用の必要性や効率性等を全国統一的な基準で比較検証ができるよう新しい計算手法の導入を研究する	減量推進課	減量推進係	・会計基準の他市の状況把握と環境省の「一般廃棄物会計基準」についての研究	・他市の状況把握と一般廃棄物会計基準の研究の継続	